

このページでは「いっしょに！OSAKINI プロジェクト」と題して 2021 年 4 月に設立された大崎町 SDGs 推進協議会（参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そらのまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社）の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI  
PROJECT



VOL. 56

12月末には、大崎町 SDGs 推進協議会の活動報告会を開催し、たくさんの方にご参加いただきました。年末のお忙しい時期にもかかわらず足を運んでいただき、本当にありがとうございました。

この 1 年の取り組みを振り返りながら、参加してくださった皆さんと一緒に、これからの大崎町について考える時間を過ごすことができたこと、嬉しく思っています。今年も、皆さんと一緒に考え、動きながら、少しずつ前に進んでいけたらと思います。引き続き、よろしくお願ひいたします！

大保 拓弥

(おおぼ たくみ)

事務局

ディレクター

## 上町旧簡易郵便局がスケルトンに！？ 住宅改修プロジェクト、解体ワークショップを開催しました！

昨年度から進めている「住宅改修における資源循環実証調査事業」は、2026 年 9 月のオープンに向け、昨年末に無事着工し、本格的なスタートを切りました。その取り組みの一環として、昨年 12 月 5 日（金）、上町の旧簡易郵便局跡地にて解体ワークショップを開催しました。当時は、大崎町役場・株式会社 LIXIL・鹿児島大学・大崎町 SDGs 推進協議会のメンバーが集まり、中にある荷物を運んだり、壁を一つひとつ外しながら、建物をスケルトンの状態にしていきました。実際に手を動かすることで、住宅の構造や使われている素材を知り、資源循環の視点を学ぶ機会となりました。現在は工事も進み、建物は日々少しづつ姿を変えています。完成後は、1~2 年ほどモデルハウスとして活用し、その後は賃貸としての利活用を予定しています。地域に新たな拠点が生まれるまでの過程を、ぜひあたたかく見守ってください。

BEFORE



AFTER

### 住宅改修における資源循環実証調査事業とは？

2024 年 6 月に鹿児島県大崎町、大崎町 SDGs 推進協議会、鹿児島大学、および株式会社 LIXIL で、「資源循環実証調査事業」に関する協定締結式を開催しました。プロジェクトでは、空き家を改修し、不動産として有効活用できるようにしたり、解体が必要な空き家の廃材を再利用することで、資源の貯蔵庫として活用することを目指しています。



公式 Instagram アカウント  
**OSAKINI project** ▶▶

「OSAKINI プロジェクト」に関わる様々な情報や楽しいイベントをお知らせします！ぜひ登録ください。



お問い合わせ先

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会

📞 099-478-1487